



巻頭特集① 平井嘉一郎  
記念図書館 開館

巻頭特集② 立命館が誇る「ここが凄い！」



父母教育後援会ホームページのご案内  
<http://www.ritsumeai-fubo.com>

立命館大学のホームページからは…  
「保護者の方」をクリック

■会員の住所変更について

本誌は、学生が学部へ届け出ている保証人住所宛に送付しています。保証人住所を変更される場合は学生本人による手続きが必要です。学びステーション(衣笠所属の方は、所属学部事務室)まで学生証を持参の上、手続きするようお子さまにお伝えください。

※最近、立命館や関係団等の名刺を利用した悪質なビジネス等が横行しております。父母教育後援会は、会員の照会を学生には一切行っておりませんので、くれぐれもご注意ください。



巻頭特集①

P3 …… **平井嘉一郎  
記念図書館 開館**



巻頭特集②

P7 …… **立命館が誇る「ここが凄い！」**

P10 …… 春のオープンカレッジ

P14 …… 都道府県父母教育懇談会&  
アカデミック講演会

P16 …… ゼミナール訪問

P20 …… 部活動&サークル Watching

P22 …… 知への扉 vol.2 情報理工学部 西浦 敬信教授  
「騒音を快音にしたり  
あなただけに音を響かせたり  
スピーカー1つで実現できます」

P24 …… 秋のオープンカレッジ  
～そうだ!学園祭に行こう～

P25 …… アカデミックウォッチング開催

P28 …… 父母教育後援会総会  
春の委員懇談会レポート

P30 …… 父母教育後援会&  
大学からのお知らせ

**News 「BKCスポーツ健康コモンズ」が開設**

2016年9月、ついにBKC正門横に「BKCスポーツ健康コモンズ」が完成しました。この施設は、スポーツや身体活動に親しみ、互いに刺激しあい、健康を発信する場となるよう、学生たちとも意見交換をしながら作り上げてきたものです。アリーナ、トレーニングルーム、アクティブスペース、そして立命館大学としては初めてとなるプールが設置されており、後期セメスターからは授業や課外活動にも使用される予定です。

また、1階の「リラックスコモンズ」は父母教育後援会の支援により、学生の意見を取り入れた畳スペースや、カフェが併設されたダイニングスペースを設置。さらに通りに面して大きな開口を設けることでパブリックビューイングも可能になるなど、当初の計画より更に充実した空間になりました。開放的な雰囲気の中、学生が心身を癒し、仲間と気軽に交流できる今までのキャンパスにはない新たな空間として、BKCスポーツ健康コモンズは象徴的な施設となるでしょう。




# 平井嘉一郎記念図書館 開館

半世紀近くにわたり衣笠キャンパスで学生の学びを支えてきた図書館が、2016年4月1日に平井嘉一郎記念図書館として生まれ変わりました。立命館名誉館賓であり、1940年に本学法学部経済学科を卒業された故・平井嘉一郎氏のご遺志をくまれ、ご令室の名誉館賓・平井信子様からご寄贈いただいた図書館です。最新の設備などを学生ライブラリストッフと共にお伝えします。



## 学生の学びを支える 新しいアカデミックシンボル

平井嘉一郎記念図書館は、設備や資料、サービスなど、どれをとっても国内最高水準。最先端に行く図書館の特徴をご紹介します。

**学生ライブラリー  
スタッフがナビゲート**

学生ライブラリースタッフは、利用者の方が快適かつ利用しやすい環境整備を行うのが主な役目です。図書館を良く知るスタッフに案内してもらいました。

**三好 拓磨さん**  
法学部3回生

### 学びをシェアできるスペースが充実

図書館といえば私語厳禁のイメージがありますが、学生たちにとって仲間と学びを共有する場でもあるため、館内には「ひあ」をはじめとして、ディスカッションなど自由な学びをサポートするスペースがあります。「ひあ」のイベントエリアは最大60名を収容できるほか、セミナールーム3室やシアタールームなども完備。ここでは学生たちは好みのスタイルで、モニターなどを利用しながら、レポートの発表などを行うことができ、以前より使いやすくなったと好評です。

#### Point!

併設されているコーヒーショップの飲み物を持ち込むことも可能に。「よりゆっくりと、くつろぎながら学習できるようになりました」。



### 自宅よりも集中できる 個人学習環境が好評

以前は、試験前ともなると席を求める学生たちで溢れていた図書館ですが、現在ではよりスペースが広がり、個人学習環境も改善されました。左右に仕切りがあり、落ち着いて学習できるキャレル席は約850席、総座席数は2,000席以上と、学生たちがゆったりとスペースを確保することが可能に。館内は無線LAN対応で、ICT環境が整備されており、パソコン利用に便利なコンセント付き座席が1,000席以上も。さらに、集中できる個人研究ブースも完備しています。

#### Point!

個室の個人研究ブースは予約制で貸し切ることができ、自由に資料を広げられるため、より集中できます。「ちょっと広めの個室もあり、自室のように落ち着いて勉強ができます」。

### 貴重な資料を有する 2つの文庫も必見

館内には学生はもちろんのこと、教員の研究も支えるために100万冊以上の蔵書があり、以前より約5万冊増えています。新着図書コーナーも設置され、常に新しい資料が増えており学生たちにも好評です。蔵書の中には資料価値の高いものも数多く、特別コレクションとして学祖・西園寺公望、創立者・中川小十郎の蔵書を含む、約7万冊もの貴重書を収蔵しているのも特徴。白川静文庫や、加藤周一文庫などでは、今まで自由に閲覧できなかったものが公開されているので必見です。

#### Point!

2階にある白川静文庫と、加藤周一文庫。どちらも立命館大学に所縁の深い研究者の文庫です。「お二人の愛用品なども展示されていて、興味深いコレクションです」。



## スムーズに貸出しできる 最先端の技術と設備

ここは大学図書館として最先端の機能を備えているのも特徴。例えば、自動貸出機能付き図書館ゲート (KASIDASゲート) は日本初の機構で、資料を持ったままウォークスルーで貸出し手続きができます。自動貸出返却機では、一度に約10冊の資料を一気に手続き可能。学生たちは手続き時間に手間取ることなく、スムーズに利用できるようになりました。

また自動書庫は、国内最大級約100万冊の収容可能冊数を誇り、蔵書検索システムからリクエストすれば、自動的に1階カウンターまで、資料が運ばれてきます。

Point!

これがKASIDASゲート。「学生証をかざすだけでよいので、本当に便利な機能です」。



## グローバルな学びを支える 世界へ通じる資料

グローバルな学びを支えるために、世界を身近に感じられるコーナーや資料も豊富に。「びあら」の多文化交流エリアでは、語学のスキルアップに役立つ資料のほか、海外事情や海外文化に関する資料なども整備。留学に関する説明会や相談会なども開催し、世界へとつながる図書館として利用されています。また、京都で唯一の国連寄託図書館を設置しており、国連の公式記録を閲覧することができるのも、世界に興味を持った学生たちにとって、図書館の新たな魅力となっています。



学生と見学に来られる保護者の方もいらっしゃいます。ぜひ、衣笠キャンパス訪問時には、館内を見学してみてください。

単なる図書を閲覧する場所ではなく、メディア編集をしたりイベントも開催できる多目的な機能を持つすごい図書館です。



僕たち学生ライブラリースタッフは、本の紹介を行ったり、図書館ツアーなども開催。図書館の運営に学生も参加しています。

Point!

地下1階にある国連寄託図書館。このフロアには、貴重書庫や貴重書閲覧室も。「アメリカのUFOに関する資料などもあって、興味深いものがあります」。



## 立命館が誇る 「ここが凄い！」

立命館大学には様々な研究施設があります。その中には、学生の学習や研究に役立つだけでなく、社会へ貢献しているものも少なくありません。そうした本学が誇る施設の一部をご紹介します。





扉と上の浮世絵データは立命館大学ARC所蔵のもの。これらの作品データは、サイトの中の「公開データベース」から見るができます。http://www.arc.ritsumeiji.ac.jp/database.html  
各資料番号(扉) arcBK01-0043-47、(上) arcUP2567

## 最先端の技術が集結する SRセンター



放射線状に15の施設があり、高度な分析を行うことができる。

このセンターの特徴は、放射光加速器。超伝導小型電子蓄積リングを光源にした世界で最も小さな設備であり、日本の大学としては東京大学に次いで2番目の附置です。放射光施設は全国に9カ所あり、理化学研究所の播磨事業所が世界的にも有名ですが、現在私学においてこうした施設を有しているのは立命館大学のみです。この施設は、放射光と呼ばれる非常に明るい光を用い、原子レベルの微細な構造や働きを分析することができ、対象物が何からできているか、どういう構造なのかを知ることができます。特長ある学部教育の一環として、学部3回生の学生実験等のカリキュラムにも組み込まれ、研究に役立っているほか、企業からの分析依頼にも応じており、様々な分野で役立てられています。



2009年から蓄電池材料解析手法の高度化事業に貢献しており、このプロジェクトは2016年度から5年間継続が決定。センターではさらに、高度な電池材料解析手法開発が予定されている。

企業などからの外部委託分析数ランキングでも、全国の大学の中で1、2位と群を抜いて多い。



## 大英博物館と協力関係にある アート・リサーチセンター



デジタル化を行う前に、浮世絵や古典籍は虫食いなどのダメージを修復する。

アート・リサーチセンター (ARC) では、古典籍や浮世絵などを修復し、デジタル化して、データベースを構築しています。中でも浮世絵データベースは460,000枚を超える世界トップクラスの規模で、大英博物館などが使用している浮世絵デジタル画像もARCがデジタル化したもの。このように世界が認める最高水準の技術で貴重な資料や美術品を保存すると共に、デジタル化することで共有が可能となるため、社会貢献や国際貢献へ寄与しています。また、学生がこれらの作業にスタッフとして参加するなど、本物に触れる環境を提供することで、文学部や映像学部の学びや研究にも貢献しています。



和綴じの本は、デジタル化する前に裏写りを防止するためページごとに紙を挿入する。こうした作業を学生スタッフが担当することも。修復はとても細かな作業で、破損した部分を和紙で埋めていく。



1カットずつデジタル化を進めていくのも根気のいる作業。シワになっていないかなど、細かく気を配りながら作業が行われる。

## 世界的な評価も高い 歴史都市防災研究所



地域の水やりや清掃など日常利用することで、いざというときに誰もが使えるように開発された高機能型市民消火栓。地域社会への貢献として、小学生を対象としたマップコンテストを毎年開催。小学生と親が地域の安全安心をテーマにマップを作成し、防災への関心を高める。

世界的な文化遺産が数多く残る京都を中心に、それらを自然災害、人災、獣害から守るため、歴史に学ぶ減災の知恵の研究や伝統を活かした防災技術開発、文化遺産の保全・継承のための政策・計画などについて、2003年より約80名の国内外の研究メンバーが文理融合の複合的視点から研究活動を行っています。2006年には、文化遺産防災の分野における世界初のUNESCO Chairとして認定され、毎年秋に「文化遺産と危機管理」国際研修プログラムを実施しています。海外からの研修生とともに、京都、仙台、神戸等で実習を行い、防災や文化遺産に関する知識の交換や国際協力の促進を積極的に進めています。展示ルームでは防災関連史料などや研究活動の成果を見学することができます。



歴史都市を守るため、世界遺産・清水寺の防災活動をテーマにした授業も開講し、他大学生も参加。

# Spring Open College 春のオープンカレッジ

春の訪れと共に毎年開催されるのが、父母教育後援会の大きな行事である春のオープンカレッジ。昨年開設されたOICでも開催され、3キャンパスに足を運ばれた保護者の方々は約2500名にのぼり多くのプログラムは満席になるほどで、皆様の教育に対する熱意が感じられました。今回は、BKCとOICの2キャンパスの様子をお伝えいたします。

午前  
の部

## 最新の情報が得られるテーマ別説明会

午前の部は、テーマ別に分かれて大学教職員や学生、卒業生が講演。学生生活講演会、就職説明会、海外留学説明会、スキルアップ説明会、教職説明会といったテーマ別の説明会のほか、キャンパスツアーや就職活動相談会にも多く保護者が参加されました。

## 就職説明会



## 卒業生も迎え就活の現状と対策を講演

キャリアセンター石原一彦部長が就職活動の概況を紹介。2016年3月卒業の大学生就職率が過去最高を記録するなど、売り手市場が取り沙汰される一方で、就職活動スケジュールが前年と異なるなど学生の多くは不安を抱えていると説明。採用解禁よりも早く動き出す企業の実状、また保護者は就職活動中の子女とどう向き合うべきか。それらについて具体的に話しつつ、充実した学生生活を送ることが、より納得のゆく将来につながると結びました。後半は卒業生と在校生が各々の体験を語りました。



森田 侑樹さん  
2016年3月政策科学部卒業 京都中央信用金庫 勤務

金融に絞ったのは3回生の2月にワークショップを経験してからです。就職活動中は友人たちと支え合い、OB、OG訪問を通じて先輩方からアドバイスもいただきました。1回生から3回生まで充実した日々を送ったことが、就活の好結果につながったと考えています。



寺西 祐樹さん  
経営学部4回生 大手IT企業に内定

入学後、間もなくキャリアセンターに相談する中で見えてきた、自分自身のいかし方、不安や悩みを解消してくれる手厚いサポートが、私の道を開いてくれました。現在の就職活動はインターンシップも重要視されるため、まずはそこをパスするスキルを磨く重要性も感じました。

## 大学院説明会



### 最先端の環境で研究を継続

力学に興味があり、ロボット工学の道へ進みました。遠隔操作できるロボットハンドの研究を大学院でも引き続き行えることが、進学の魅力でした。立命館大学大学院は奨学金制度が充実しており、給付型のものが多いので、より学びを深めたい学生には有益です。



米田 知生さん  
理工学研究科  
博士課程後期課程3回生

## 将来を見据えた大学院進学の内方

大学院進学について、いかに大学院での学びが求められる時代になったか、昨今の状況について永井清教学部長が解説。特に、立命館大学は私立大学の中でも、研究費採択金額及び件数が西日本第1位であり、最先端の研究を行える恵まれた研究環境があります。さらに、来年度からは大学院の授業料が下げられることも決定され、より大学院進学への門戸が開かれることに。将来どのような道を目指すかを考えながら、大学院進学も視野に入れることを説明されました。

### 将来を見据えた大学院進学

低酸素トレーニングについて研究を行っています。大学院進学は自分の目標へより近付けるものであり、学部の延長ではなく、社会や企業ともつながることができる良い期間です。立命館大学大学院は学会への参加費の補助があるなど、研究しやすい制度も整っています。



角 大地さん  
スポーツ健康科学研究科  
博士課程前期課程2回生

## 海外留学説明会

### 単なる体験に終わらせない留学のポイント

立命館大学は留学制度が充実しており、世界30ヶ国・地域、145大学・機関から留学先を選べるのも魅力です。神子直之BKC国際教育センター長からは、留学を通しての学びと成長について、「他国の人と接して自分の考えを伝え、自分には何が必要なのかを知る好機である」ことなどを説明。良い留学のためには、学生は早目の準備が不可欠であり、保護者は自立を促す支援が必要。さらに将来へとつなげるためには、帰国後の継続的な取り組みが必要であると力説されました。

### 資格取得を夢に 留学を決意

2015年度、カリフォルニア大学デービス校(アメリカ)へ留学。アメリカでしか取得できないトレーナー資格の取得が夢であり、海外留学を経験しました。多文化に触れられる貴重な経験ができ、だからこそ帰国後は日本の情勢や歴史に興味を湧きました。



谷山 大季さん  
スポーツ健康科学部3回生

## 教職説明会



### 変動期を迎えた教員採用の現況を報告

前半は教職教育総合センターの四方利明センター長が教職課程の学びについて説明。教職教学の理念は「高い専門性(知識・見識・技能)」「子ども(人間)理解力」「伝える力(=実践力)」。立命館大学における年間の教員免許取得者数は約500名にのぼり、2016年度の教員採用試験合格者数が294名(既卒含む)であることも報告されました。後半は教職支援センターの富永直也講師より、変動期に入ったといわれる採用状況と今後の展望を、数字を提示しながら解説。説明会の終盤には、教職支援センターに移動し学習環境を見学し、質疑応答の時間ももたれました。

## 学部の学びをより深く知る学部別懇談会

午後は各学部に分かれての懇談会を開催。どのような授業が行われ、学生たちがどんな研究を進めているのかなど、大学教職員より説明が行われました。また、キャンパス内を見学するなど、保護者の方々が学生の学びの場に触れる機会となりました。

### 総合心理学部



#### 総合心理学部への関心高まる説明会

知覚心理学が専門の佐藤隆夫教授を学部長に迎え、今年4月に開設された総合心理学部。冒頭、挨拶に立った学部長は、心理学の定義や心とは何かなどをわかりやすく解説。社会に役立つ学問であることを説かれました。学部長は、東京大学で博士課程進学後にアメリカへ渡った自身の経歴も紹介され、保護者は関心を寄せられていました。続く星野祐司教授は、カリキュラムや施設など、総合心理学部の魅力を具体的に紹介。「認知・行動コース」「発達・支援コース」「社会・共生コース」の3コースを設定し、心理学を広く体系的に学べる環境であると説明されました。前半の最後には、矢藤優子准教授が登壇。総合心理学部の母体となった文学部心理学専攻のデータとして、大学院進学率は26%、一般企業への就職は大手銀行や流通など幅広いことなどを紹介されました。後半は、在学生2名が文学部心理学専攻で学んだことや、それぞれの学生生活を語りました。

#### 人間を総合的に探求する新設学部

総合心理学部では、基礎心理学から応用心理学まで多岐にわたる心理学の分野を総合的に、バランスよく学ぶことができます。さらに人間を総合的に探求することを目指して、哲学や、政治学、経済学などの領域にも展開しているので、心理学を中心に広がりを持った学びも可能。様々な分野を専門とする個性豊かな先生方が集結し、面接実習室や動物行動実験室などの実験・実習施設も整備され、カリキュラムをより充実したものにしています。また、総合心理学部の特長の一つとして、「プロジェクト発信型英語プログラム」を用意。学生が関心を持ったテーマについて、自らの意見や考えを英語で発信することで、将来国際的に活躍する人材の育成も目指しています。心理学の分野では、公認心理師が新たな国家資格として認められるなど、新しい動きが出ており、今後の展開が期待されます。

#### 留学の経験も心理学に生かす

2回生の夏からカナダのバンクーバーへ8か月間留学しました。現在はインターナショナルハウスで留学生の支援をしています。心理学を学んだことで、仮説検証思考が身に付きました。論理的に考え物事を解決に向かわせる。この力を就職先でも発揮したいです。

鈴木 良太さん 文学部心理学専攻4回生



#### 次の目標は大学院進学

乳幼児心理学に興味があり、幼稚園で子どもと触れ合うなどして学んでいます。海外ボランティアサークルで経験したフィリピンのスラムで暮らす人々との交流はとても勉強になりました。卒業後は大学院に進学し、将来は社会に役立つ臨床心理士になりたいです。

新家 結子さん 文学部心理学専攻4回生



## 生命科学部



#### グローバル化に対応し 高い評価を受ける学び

小島一男学部長の挨拶では、2017年度から定員数増員を申請中であることなど、大学や学部の近況が紹介されました。その後、花崎知則教学担当副学部長より化学と生物学をベースにした生命科学部での学びの特徴について解説。また、昨今のグローバル化に対応した、プロジェクト発信型英語プログラムや学部独自の留学プログラムについても紹介されました。さらに、石水毅学生主事より進路やキャリアについて説明。約50%が上場企業などの優良企業へ就職している実績や技術系職種への就職動向についても紹介。大学院修了者では80%以上が技術系職種への就職を決めている状況も紹介されました。



実験データを示しながら、思考の過程や手法をレポート。教授からの細かいアドバイスなどがあり、この日の発表だけでも約2時間が費やされていました。

#### 学生の学びに触れながら 新しい施設も見学

学部紹介の後、4つの学科に分かれ学科別懇談会を開催。各学科の特色のある研究や進路の紹介を経て、学生が学んでいる施設見学を行いました。学生たちが授業（実験）で必ず使用する学生実習室や、専門的な実験を行う研究室などに保護者の方々も見入っておられました。特に2015年4月に開設されたバイオリンクは「立派で設備が整っている」という声も多く聞かれました。

#### 奨学金、就職サポートの充実で内部進学を決意

積極的に研究室訪問やセミナーに参加することで研究意欲が刺激され、大学院進学を希望するように。進学先は他大学進学か内部進学かを迷いましたが、奨学金制度の充実や、就職サポートの充実を考えて生命科学研究科へ内部進学することを決めました。

藤本 恵さん

生命科学部 生命情報学科4回生



#### 研究と就職活動を両立し、無事内定を獲得

研究を3年間続けたいという思いと研究設備が充実していることから内部進学で大学院へ進学しました。研究と就職活動を同時に行うことは大変でしたが、春休みに時間を作って長期のインターンシップに参加し、その結果、島津製作所に内定をいただくことができました。

丸山 かれんさん

生命科学研究科 生命科学専攻  
博士課程前期課程 応用化学コース2回生



#### 学生時代の経験が社会人でも役に立っていることを実感

学生時代の研究室生活では、3年間研究に取り組むことで研究の進め方が身に付き、社会人になった今でも役に立っています。就職活動では、学生時代に取り組んだ研究を企業での研究開発に繋げたいという軸をぶらさずに面接で語るようにしました。

波北 悟さん

松本油脂製薬株式会社 勤務  
生命科学研究科 生命科学専攻  
博士課程前期課程 生物工学コース2015年3月修了



#### check



#### 学生たちと巡る好評のキャンパスツアー

在校生が案内するキャンパスツアー。彼らの日々のエピソードを交えながらの見学は、学生たちの日常をより具体的にイメージできると好評です。豊かな学生生活を実感できるツアーは保護者の関心が高く、グループに分かれて巡りました。

# 2016年度都道府県父母教育懇談会

5月から7月に渡り、都道府県父母教育懇談会が全国各地で行われました。

今年は1,600名の方々が参加され、山口県と岐阜県の2会場では〔アカデミック講演会〕も開催。

興味をお持ちの保護者の方々が多数来場されました。

## 昨年の活動報告と共に 今年度の方針を報告

会場では映像や学生・卒業生の体験談、教員からの解説により、立命館大学の学びや取り組みを紹介。大学代表の先生方からは、「保護者の方々には、大学と共に在校生や卒業生を育てていただき、和やかで実りのある会に発展させていただきたい」と挨拶がありました。



## 保護者の悩みを共有し 学生たちとも交流する場に

「なかなか子供と直接話す機会がない」、「インターンシップについて詳しく知りたい」など、保護者の方々から疑問や悩みが提示され、大学教職員から対応方法についてアドバイスなどがなされました。また、参加している学生と直接質疑応答を行うことにより、学生の立場からの意見が聞ける良い機会になったと好評でした。

## 学生たちの体験レポート

学生たちは実際にどのような活動を行っているのか、彼らのリアルな声に直接触れる機会となっているのが、懇談会で行われる学生たちのレポートです。会場での発表のほか、グループに分かれて行う学部別懇談会の会場では、学生たちも保護者の方々と交流を行いました。

### YAMAGUCHI



石井 貴大さん  
法学部3年生

「ソフトボール部に入りましたが、同回生と打ち解けるのに苦労しました。でも、大学には出身地も含めみんな違う背景を持つ学生が集まっていることを理解できてから、逆に刺激をもらえて楽しい」と、課外活動の内容や悩みについて報告してくれました。



園田 朋子さん  
2014年3月 法学部卒業  
山口県庁勤務

「就職活動では民間か公務員かで悩み、3年生の途中で公務員に集中。計画表を作り、山口県庁のインターンシップに参加したことは良かったです。公務員試験は長丁場なので本人も家族も大変でしたが山口県庁に合格しました」と、就職活動について語ってくれました。



片桐 菜摘さん  
法学部4年生

学生生活について「正課だけでなく、課外、バイト、就職活動の4つが生活の柱。私にとって応援団吹奏楽部での活動は、学生生活の中で大切なものでした。大会での応援だけでなく、地域のバレーやお祭りに参加し、交流が持てたことも良い経験です」と語りました。



大森 裕也さん  
経営学部4年生

商工組合中央金庫に内定した大森さんは、就職活動スケジュールなどを報告。「金融系を志望していたが経験値を上げるためにも、他業種のインターンシップにも参加したのがよかった。周囲に内定者が出ると焦るけれど、家族が黙って見守ってくれたのは支えになった」と語りました。

## アカデミック講演会

毎年2会場で行われるアカデミック講演会。今年は山口会場と、岐阜会場で開催されました。本学の教員が約50分の講演を行い、普段から学生たちがどのようなことを学んでいるのか、多くの保護者の方々に体験していただきました。

### 山口 運動の生活カルチャー化による 活力ある未来をつくる

アクティブ・フォー・オール拠点 文科省COIストリームの取り組み

伊坂学部長より最先端の研究について、文科省COIストリームの内容を紹介しながら講義が行われました。「人生を楽しむためには健康維持が大切で、そのためには運動が不可欠ですが、ジムへ通うなどは意外とハードルが高い。気軽に幅広い年齢層が楽しめ、仲間を作ることでよりコミュニティを形成するにはどのような研究が必要か」と、学内外の研究者や企業と連携して脈拍などが計測できるスマートウェアの開発や、例えば同じ空間で違う音楽を流して負荷の異なる運動ができる超音波スピーカー（P22、23参照）の開発など、産学連携の進む立命館大学らしい先進的な取り組みについて語られました。



伊坂 忠夫 いかさ ただお  
スポーツ健康科学部長

1985年立命館大学産業社会学部産業社会学卒業後、日本体育大学大学院にて修士、立命館大学理工学部にて博士取得。日本体育大学・非常勤講師、立命館大学理工学部・教授などを歴任し、現在は立命館大学スポーツ健康科学部長・大学院スポーツ健康科学研究科長。工学分野と連携しながら、スポーツ選手ならびにリハビリテーションに活用できる新しいコンセプトのトレーニング装置の開発に携わる。「身体動作の運動学習支援装置の開発」、「筋力トレーニング装置とその評価法の開発」で特許申請。

### 岐阜 心とはなにか？

今春、開講した総合心理学部は約150名の募集に対し、約5,000人の志願者が出たほど、社会的にも注目を浴びる学問で、参加者の多さからも関心の高さが伺えました。会場では学部長である佐藤教授の講演が行われ、「心とは何か」について話されました。心理学が知覚と関連しており、脳科学や哲学など、様々な学問とも関わりを持つことを紹介。「心とは人間の脳で行われる情報処理であり、知的な機能の集合と考えられています。その見地から、心の障害は情報処理の障害として研究し理解する」という、現在の心理学について話されました。



佐藤 隆夫 さとう たかお  
総合心理学部長

1974年3月東京大学文学部心理学専攻卒業。1983年5月同大学院人文科学研究科心理学専攻課程博士課程を単位取得退学後、米国ブラウン大学心理学部大学院を修了。その後、会社勤務を経て、1995年5月東京大学大学院人文社会系研究科助教授、翌12月同研究科教授となる。2016年度より立命館大学総合心理学部教授として着任。専門は知覚心理学。公益社団法人日本心理学会常務理事や、国際心理学会議組織委員会副委員長も務める。

秋にも開催！

10/29(土)  
ホテル日航金沢

12:30~14:00  
参加費無料

「オール立命館校友会」の「立命館アカデミック企画」に保護者の皆様もご参加いただけます。今年は講演会とシンポジウムを実施。

【講演会】 世界が求める人材像と大学の役割

【講師】 宮家 邦彦氏

(立命館大学客員教授、AOI外交政策研究所代表、キャノングローバル戦略研究所研究主幹)

【シンポジウム】

宮家 邦彦氏×吉田 美喜夫氏(立命館総長)×小倉 正人氏(北國新聞社論説委員)

詳細はコチラ <http://hajimari.info/>





衣笠キャンパス  
法学部

# 徳川 信治ゼミ



## 社会と人を守る法を目指して

### ゼミ生 voice

#### 大木 隆雅さん

徳川ゼミの志望動機は、2回生の時の徳川先生の授業で、国際法の魅力を教えていただき、魅了されたからです。

#### 木村 晃大さん

国際社会が抱えている多くの問題や現在の状況、それに対する解決のアプローチの仕方に興味があり国際法ゼミを志望しました。

#### 高梨 桂祐さん

法律を通して社会の成り立ちや法律の重要性を学びたい。ゼミでは国際法を学び、ディベート大会などで積極性を身につけたいです。

#### 中西 宏太さん

私は将来海外での勤務を希望しており、ゼミ内で多角的に物事を捉えられるようになりたいと思っています。

#### 岩城 貴大さん

卒業論文は宇宙活動の商業化に関わる国家責任をテーマに研究しようと考えています。

#### 大西 真由さん

ゼミの志望理由は、模擬裁判形式の授業形態をとっていることと、社会人との交流会を年に数回行っている点です。

#### 近藤 卓平さん

ゼミでは模擬裁判に取り組み、相手が言おうとして理解したり、自分の意見をよりわかりやすく伝えられるようになりたいと思っています。

#### 高橋 慶成さん

バックバックでヨーロッパ1周の旅をしたときに、実際に難民に出会い国際法に興味をもち国際法ゼミに入りました。

#### 西本 千紘さん

私は人に意見を言うことが苦手です。苦手な部分を少しでもよくしようと思い、発言の機会が多いこのゼミを志望しました。

#### 塚原 達也さん

ゼミ内では同窓会実行委員として運営に携わせていただき、同窓会では多くのことを学ぶことができました。

#### 岡村 実優さん

公務員を志望し法学部へ入学。国際政治などに興味がありゼミを志望しました。現在はディベート大会に向けた準備に取り組み中です。

#### 嶋津 有成さん

このゼミを志望したのは、模擬裁判や討論会を通して自らの意見を相手に理解してもらおうという技術を身につけたいからです。

#### 露崎 裕大さん

ディベートを通して、自らの意見・主張を論理的に伝える力を身につけたいと志望しました。

#### 山口 敢さん

私の将来の夢はお金や商品を通して、たくさんの方と密に関わることができる仕事に就くことです。

#### 藤井 健太郎さん

将来の夢は人生1度きりなのでチームや組織で0から1を作り出し、少しでも多くの人々を幸せにしたいと思っています。

## 法を作るのも守るのも人 それゆえに必要な研究とは

法学部と言っても分野が分かれており、徳川教授の専門は国際法。「普段の生活にあまり関係がないように思いますが、意外とあるんです。例えば、マグロは条約で漁獲量が設定されていますが、これも国際法に基づきます。今話題のTPPもそうです」と聞くと、少し身近に感じられます。いわばこうした法が平等に整備されなければ、私たちの生活は脅かされるのです。「ですから、明治時代は不平等条約を改正するためにも、法が重要視されていました。法は人が設定するため、問題があるのは当然のこと。そのために研究し、追求する人間が必要」。法はある意味、人を守るものでありながら、攻撃にも転じます。「だからこそ、研究する人間も使う人間にも心が必要。それを学生たちには忘れて欲しくない」と徳川教授。ゼミの学生たちは、常にそのことを胸に学んでいます。

## 模擬裁判で養う 考える力と語る能力

徳川ゼミの特徴は、模擬裁判の講義スタイル。「法学部は法律を全部覚えるのですかと、高校生などによく聞かれるのですが、法は覚えるものではありません。使いこなすものです」という徳川教授の教えを実践するため、学生たちは様々な模擬裁判に取り組みます。架空の裁判とはいえ、ニュースで話題になった案件などになぞらえられており、学生たちはリアルタイムで難問に挑みます。「どちらにも分があるようにテーマを設定しています。判例を見ても簡単に答えが出せません」。そのため、学生たちは自ら法を武器に、考えを戦わせます。こうした実践的な講義スタイルは、学生にとって良いトレーニングとなっており、ディベートの能力も身につくのだとか。また、課外活動でも社会人と交流するなど、幅広い知識や考えに触れる機会を大切にしています。



徳川 信治 とくがわ しんじ  
法学部 教授

1990年立命館大学法学部卒業後、1995年同大学院法学研究科博士課程終了。1996年より本学へ赴任。国連や欧州をはじめとする人権保障に関する諸条約・宣言の研究。欧州統合に関わる人権の役割や国内裁判所における人権条約の取扱いといった、国際社会における人権と国家の関係に関する研究が専門。



模擬裁判では、分厚い条約集や判例集を片手に反論や質問を行う学生たち。この日は、大使館に駆け込んだ家族の拘束事件について取り上げられていた。



ゼミでは社会人との交流会も開催。キャリア形成支援を目的として、ゼミOB会と協力しながら行われた。卒業生たちも、立命館ファミリーとして在学生の成長に貢献している。

大阪いばらきキャンパス  
政策科学部

# 桜井 政成ゼミ



## 注目を集める「コミュニティディベロップメント」とは

### ゼミ生 voice

#### 加藤 慶さん

二回生の授業で商店街再生に触れた際、地域のコミュニティというものに興味を持ち、桜井先生のゼミなら深く学べると思い志望しました。

#### 田端 歩佳さん

ゼミ以外での課外活動があり、そのさまざまな課外活動を通して学べる事があると思ったので志望しました。

#### 坂原 友和さん

桜井ゼミで実施するコミュニティディベロップメントで、学生と地域の間で交流できる場を作りたいです。

#### 出川 恵弥さん

茨木市というフィールドで地域連携を中心に、OICの特性も活かした学びができるゼミだと思い、志望しました。

#### 向井 美穂さん

文献調査だけでなく、地域の方達との交流もあり、楽しそうだったので志望しました。

#### 佐藤 夕映さん

本ゼミでは多岐に渡る研究が出来ると共に、他では行わないイベントや現地調査の機会を設けてくれます。

#### 中井 裕紀さん

福祉を学ぶ上で地域コミュニティが必要であると考え、コミュニティ形成を主としている桜井ゼミを志望しました。

#### 篠田 美穂さん

以前からNPOと地域福祉の活動に興味がありました。桜井ゼミは学外の方々に関わる機会も多いのでやりがいがあります。

#### 原 昂司さん

人と人のつながりから、社会問題について考えることができるこのゼミに興味をもって志望しました。

#### 山野 陽子さん

子どもと接する事が好きなので、子どもたちと触れ合える活動をしている桜井ゼミに入りました。

#### 高岡 捷人さん

桜井ゼミは専攻分野に縛られることなく、多彩な知識を持つ学生が集まっています。知識の交換しつつ、自分の研究を進められるのが魅力です。

#### 木村 寧音さん

昨年から桜井先生のクラスで研究していたということに加え、人と人のつながりを感じることが出来るゼミ活動に惹かれたからです。

#### 滝村 亮祐さん

昨年度より先生の講義を受講しており、コミュニティや地域関係の活動に関心があったため志望しました。

#### 松井 佑梨子さん

教室内に限らず、地域の方とも繋がることでより実践的な学びができると考え、このゼミに入りました。

#### 渡部 瑞貴さん

桜井先生のゼミでは幅広く色々なことを学ぶことができると聞いていたので桜井先生のゼミを志望しました。

## ボランティアとは何か

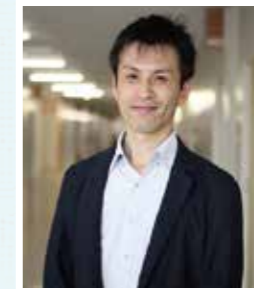
実は桜井教授は、本学の政策科学部の一期生。「学生時代は冷戦が終結し、世界的な情勢変化のあった頃で、政治に興味があった」という在学中に阪神淡路大震災を経験。学部で参加したボランティアがきっかけで、ボランティアに関心が向き研究することに。「東日本大震災で、発生一年後までに被災地で活動したボランティアの数は約100万人と、以前よりボランティアが認知されてきています。政府でも企業でもない市民社会の諸活動が、復興の大きなパワーとなっています」。こうした活動体は近年「NPO」や「社会的企業」と呼ばれ、桜井ゼミでの研究対象です。「現代では人口が減少し、コミュニティをどう形成するのか。高齢者や弱者をどうサポートするのかなど、地域社会での課題を探り解決方法を見出す「コミュニティディベロップメント」の視点が重要です」と、ここでの研究は、現代社会の問題を色濃く反映した内容ともいえます。



## 多くの課外活動を通して 分析しながら人間的にも成長

学生たちはゼミでボランティアなどの多くの課外活動を行っています。例えば、東日本大震災では復興住宅の談話室でたこ焼きパーティを開催。仮設住宅などからさまざまな人たちが新たに集まった段階での食のイベントは、コミュニケーションを促し、また外部とのつながりが人々の生活を活性化させたそう。こうした活動は研究・分析のためになるだけでなく、活動を通じて学生たちも年代やバックグラウンドの違う人々と交流し、より社会を知ること、人間的にも成長する好機となっています。2015年からは大学の敷地内に地元住民と共に畑を共同管理するなど、新しい取り組みにも意欲的です。取材当日も次のイベントの準備について話し合いが行われていました。

ある日の  
桜井政成  
ゼミ



桜井 政成 さくらい まさなり  
政策科学部 教授



2003年立命館大学政策科学研究科博士課程後期課程修了。博士(政策科学)。立命館大学ボランティアセンター 主事(2004年~2006年)、立命館大学ボランティアセンター助教授(2006年~2007年)等を経て、2007年4月より現職。「目に見えない政策現場」である非営利組織やボランティア活動をテーマに研究を行う。



キャンパスのある茨木市民との交流イベントでは、食料寄付を集める「フードドライブ」の取組も行った。



茨木市の総合保健福祉計画づくりのために、各地区でワークショップをゼミで支援。活動は研究としてまとめる予定だそう。

# 部活動&サークル Watching vol. 08

立命館大学には多くのクラブやサークルがあり、優秀な成績を収めている学生たちも多く、日々切磋琢磨しています。そうした学生たちの今の目標や希望を、代表が語ってくれました。

## 体育会ボート部



2016年で創部70周年を迎えたボート部。キャンパスの位置する滋賀県・瀬田川で練習する姿は、界限ではおなじみの風景だ。

## 創部70周年を迎え実力もアップ

男女共に実力の高さは知られており、昨年は女子が全日本選手権・女子舵手なしペアで優勝するなど、好成績を残しています。「1人から8人までの種目があり、花形競技はエイトと呼ばれる8人で行う種目。男子は2,000mを6分を切るスピードが出ます。見ていても綺麗だけれど、競技中に全員の息がぴったり合ってすーっと水面を滑る瞬間は快感です」。コックスと言う舵取り役も重要で、パワーだけでは勝てないそう。



奥井 悠子さん  
体育会ボート部 女子主将  
スポーツ健康科学部4回生



## クラシックギタークラブ



## 毎月の演奏会も好評

「クラシックギターはフォークギターと違い、6本の弦のうち、3本がナイロン製だから音が柔らかく感じます」と聞いて、音色の違いに納得。ギターは一人でも演奏して楽しめるうえ、グループで演奏するとまた違った音が奏でられるのも魅力。「毎月ユースホステルのロビーで演奏会を開催したり、フラメンコサークルと活動して伴奏も行います」と、活動の幅は広いとのこと。毎年行われる定期演奏会も、地域の方々に好評です。



古田 俊哉さん  
クラシックギタークラブ 部長  
産業社会学部3回生

「人前で演奏すると上達が早い」と、様々な演奏会を開催。定期演奏会では、アルトギターなども登場し重厚な音を聞かせる。

12月25日には京都アルティで定期演奏会を開催します。参加費は無料なので、ぜひご来場ください。

<http://kinugasaguitar.iinaa.net>

## 飛行研究会 ダンデライオン



熱気球は優雅に飛行しているように見えるが、水平を保つのが難しいそう。1機が約100万円と高価なため、大切に手入れをして使用する。それでも耐久年数は約4年。燃料はプロパンガスを使っている。

現在パイロットは3名。近く女性パイロットが誕生するかも!?

## チームワークと知力で飛ばす熱気球

約40年の歴史を持つダンデライオンは、BKCで活動。秋の大会に向けて準備中で、「スタートから目標地点まで飛び、一番近い場所へマーカーを落としたチームが勝利」と言うルールで行われます。「パイロットと4人程度のサポーターで飛ばします。目標地点へ正確に飛ぶためには、気象情報や物理学などの知識も必要。なのでパイロットになるためには筆記と実技の試験があるんです」と、体力と知力が必要な種目なのだそう。



高森 晴登さん  
飛行研究会 ダンデライオン 部長  
理工学部3回生



後藤 崇支さん  
パイロット  
生命科学部3回生

## 和太鼓ドン



## 楽しみながら伝統文化を継承

和太鼓の演奏だけでなく、踊りも行うという部員たち。楽譜は使わず、口唱歌(くちしょうが)で伝え練習するといい、まさに体で覚えるそう。「大川平荒馬踊り、ドン荒馬、七頭舞の3演目を東北の保存会や地元の方々に教わり練習しています。大川平荒馬踊りには八丈太鼓で地元津軽半島今別町の祭に参加して、長年運行にも携わっています」と言い、人口減少で伝統文化を継承するのが困難になりつつある地域では、彼らの活動は信頼され祭の開催に重要な役割を果たしています。



室岡 春香さん  
和太鼓ドン 代表  
文学部3回生

和太鼓や笛、鐘などの演奏のほか、踊りも練習。数多くのイベントにも招待されるため、日々練習に励んでいる。

毎年30ほどのイベントや行事に参加。夏の地藏盆や秋祭のシーズンは、休みがなくなるほど忙しいです。

様々な分野の研究者である教員が在籍する大学は、まさに知の宝庫。ここで学生たちは新たな知識を得て、蓄え、発展させていきます。学生たちが学んでいる各分野の専門知識や、その知識が導き出す未来について、教員の方々に語っていただくシリーズです。

「騒音を快音にしたり  
あなただけに音を響かせたり  
スピーカー1つで実現できます」

NISHIURA TAKANOBU

奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科修了、博士(工学)を取得後、和歌山大学へ。その後、2004年より立命館大学へ。音響情報処理、音響信号処理、音響システムなどを専門とし、文科省COIや化研費基礎研究等のプロジェクトに参画するなど、その研究は高く評価されている。

閉じた世界から  
音の視覚化へ挑戦

爽やかにスーツを着こなす西浦教授は、アグレッシブな雰囲気。研究とは無縁のように思えますが、中学生時代から、研究する仕事に就きたいと思っていたそう。「長く続けられる仕事に就きたいという希望もあって。ちょうどコンピューターの世界に興味を持ったのですが、箱の中の閉じた世界といったイメージがありますよね。それより、音は録音や再生などの体感できる動作があり面白かった。タイミング良く大学生だった頃、音のデジタル化が進みつつあったので、音の世界に入りました」。音の研究と聞いても、漠然として分かりにくいものですが、「分かりやすい研究でいえば、スピーカーがあります。これは学生にも興味を持ってもらいやすい分野です」と、様々なスピーカーを紹介してくださいました。

聞こえないのに聞こえる  
世界初のスピーカー

「スピーカーって、皆さんの身の回りにたくさんあるんです。例えば、携帯やスマートフォンにもあります。外へ出れば、駅や館内のアナウンスもスピーカーを通して行われています」と指摘されると、確かに音楽を聞く以外にも私たちは多くのスピーカーを知らず知らずのうちに利用しながら生活しています。言い換えれば、それだけ多くの音の中で暮らしているとも言えるのです。「だから、困ったことも起こります。いろいろな音に溢れて、大切な情報を聞き逃すこともありますよね。聞きたくない音、自分には関係ない音もあります。そうした問題を解消できるスピーカーがあるんです」。

それが超音波技術を利用したスピーカーです。これは、ある一点(極小領域)でのみ音を発生させることが可能な世界初のスピーカー。「簡単に言えば、一般的なスピーカーは音が空間に拡散するように設計されているのに対し、この超音波スピーカーは人間には聞こえない超音波(キャリア波と側帯波により構成)を放射します。音を複数の超音波に分けて別々のスピーカーからある一点で交わるように放射すると、交わったところのみ、音が聞こえるんです。だから、そのポイントから外れると、音は聞こえません。騒音が発生することもないんです」。何だかSF映画の中のような話が、もうすでに実現されており、これは世界初のスピーカーとして注目を浴びています。



これが世界初の極小領域でのみ音を再生するための超音波スピーカー。文科省革新的イノベーション創出プログラム(COI-T)「運動を生活カルチャー化する健康イノベーション」および立命館大学R-GIRO「多世代交流型運動空間による健康増進研究拠点」の枠組みにて、音像による運動空間シェアリングのコア技術として開発を進めています。

人に関わる音を  
より快適に、便利に

「前述のようなスピーカーを使うと、同じ空間にいながら、複数の音を発生させても音が混じり合うことはありません。例えば車内なら、ドライバーはカーナビの音声だけを、助手席は音楽だけを聞き取ることも可能です」と。この技術を利用して、秋のアカデミック講演会が開催される金沢駅では同じ空間で違う音を感じる、空間シェアリングの実験が実施されることになりました。(P15参照)。

さらに、不快な音を快適な音にする技術も進化中。「不快な音のピークを和らげる音をスピーカーから発生させ、中和するようなイメージです。これは東日本大震災による仮設住宅でも実験を行い、周囲の騒音が和らいで聞こえるという結果が得られました」。これら高機能なスピーカーにより、私たちの生活がより快適になることが容易に想像できます。

「色々な方向からものを見て、色々な人の話を聞き、そこから音の世界で出来ることを考える。さっきの騒音を和らげる技術を応用すれば、歯医者さんで歯を削るときの嫌な音を消すことだってできるんです。スピーカーって色々なことに使えるでしょ?」と、西浦教授の話は何となく、スピーカーの世界に魅了されます。是非、金沢駅の実験で体感してみてください。



ボールのような小型快音化スピーカー。不快な音を快音に変えてくれる。もしかしたら、そう遠くない将来には一家に一台あるかもしれない。椅子型のサラウンドチェアは、本人にのみ聞こえるため、映画館などで使用する。



# 秋のオープンカレッジ そうだ! 学園祭に行こう AUTUMN-OPEN COLLEGE

秋の気配に包まれる頃、びわこ・くさつキャンパスでは恒例の学園祭が開催されます。学園祭は学生たちの日頃の取り組みを発表する場でもあり、ぜひこの機会に大学と学生生活に触れてみてください。

**びわこ・くさつキャンパス**

**10月30日(日) 12時~18時30分(予定)**



【引き換え時間】  
11時45分~15時  
500円分ご利用いただけます

模擬店で利用できる  
チケットをプレゼント

同封の「模擬店チケット引換券」をご持参の上、祭典本部へ引き換え時間内にお越しください。受付で「模擬店チケット引換券」1枚と引き換えに、学園祭の飲食模擬店でご利用いただける「学生飲食模擬店用チケット(500円分)」1部をお渡しします。

- ・学園祭招待券は再発行いたしません。
- ・チケット利用時にお釣りは出ません。換金もできません。
- ・雨天・荒天などで模擬店が中止になった場合は、チケット引き換えを行えない場合があります。

## 学園祭案内ツアーも好評



学生による学園祭案内ツアーを今年も開催予定。ツアー参加ご希望の方は、事前申し込みをお願いします。申し込みには、本誌「父母教育後援会だより夏号」送付時の封筒(宛名ラベル)に記載されている「会員番号」が必要です。

【受付】9月30日(金) 10時開始(予定)

父母教育後援会WEBサイトに受付フォームを設置します。

<http://www.ritsumeifubo.com>

定員になり次第、受付終了

※上記は変更になる可能性があります。詳細は父母教育後援会のホームページでご確認ください <http://www.ritsumeifubo.com>  
※当日の様子を写真撮影し、会報やホームページに掲載することがあります。



2016年度 第25回

# 特別企画 アカデミック ウォッチング開催

# 2016年度第25回 アカデミックウォッチング開催

教員のミニ講義を受講し、テーマへの理解を深める人気コースのほか、  
今年特別企画「日本舞踊の世界と古都の文化に触れる旅」も加わり、さらに内容が充実しました。  
ご家族・ご友人とも参加が可能ですので、是非一緒にいつもとは違う京都を楽しんでください。

**1** 「平安仏教の開創～最澄・空海の足跡を辿って～」  
文学部 本郷真紹教授  
9:00～10:00 立命館大学衣笠キャンパス集合・講義  
午 前 東寺、乙訓寺  
昼 食 坂本・芙蓉園本館  
午 後 日吉大社、比叡山延暦寺  
17:15頃 JR京都駅

**2** 「京都の洋風建築～明治の息吹を感じて～」  
文学部 山崎有恒教授  
9:00～10:00 立命館大学衣笠キャンパス集合・講義  
午 前 龍谷大学本館、西本願寺、柳原銀行資料館、祇園閣  
昼 食 がんこ高瀬川二条苑  
午 後 三条通界隈、京都ハリストス修道院  
17:00頃 JR京都駅

**3** 「京都の天皇陵と古墳」  
文学部 矢野健一教授  
9:00～10:00 立命館大学衣笠キャンパス集合・講義  
午 前 蛇塚古墳、仲野親王墓、亀安寺(平安時代天皇陵)  
昼 食 神泉苑平八  
午 後 泉涌寺(江戸時代天皇陵)、明治天皇伏見桃山陵  
17:30頃 JR京都駅

**4** 「杉本家住宅、産寧坂町並み保存地区と高台寺」  
理工学部 山崎正史教授  
9:00～10:00 立命館大学衣笠キャンパス集合・講義  
午 前 杉本家  
昼 食 美登幸  
午 後 石堀小路散策、高台寺、産寧坂の町並み  
17:15頃 JR京都駅

**5** 「生誕300年～伊藤若沖と錦市場、食文化紀行」  
京都ジャーナリズム歴史文化研究所 丘真奈美先生  
9:00～10:00 立命館大学朱雀キャンパス集合・講義  
午 前 錦市場  
昼 食 京町家錦上ル  
午 後 錦天満宮、宝蔵寺、相国寺、承天閣美術館  
17:15頃 JR京都駅

## 「日本舞踊の世界と古都の文化に触れる旅」コース

**6** 「日本舞踊への誘い」  
9:00～11:30 立命館大学朱雀キャンパス集合・講義  
11:30 立命館大学朱雀キャンパス解散

※午後は下記のA～Eのコースからお好きなものをお選びください。  
「日本舞踊への誘い」のみの参加も可能です。

**6-A** 「浮世絵の今と昔～木版体験～」  
竹中木版 五代目 竹中健司氏  
昼 食 かめや本家(湯葉・豆腐御膳)  
午 後 講演、ワークショップ  
午 後 竹中木版工房・竹笹堂  
17:00頃 現地解散

**6-B** 「小倉百人一首の真の魅力に迫る！」  
昼 食 京都嵯峨料理 良弥  
午 後 小倉百人一首殿堂、解説  
午 後 周辺歌碑散策、嵐山自由散策  
17:45頃 JR京都駅

**6-C** 「嵯峨野トロッコ列車と保津川下りで巡る嵐山散策」  
昼 食 大本山天龍寺 飾月(精進料理)  
午 後 天龍寺、嵯峨野トロッコ列車、保津川下り  
午 後 嵐山自由散策  
18:30頃 JR京都駅

**6-D** 「京のおもてなし体験～舞妓のおもてなし～」  
昼 食 花郷(お座敷舞妓体験)  
午 後 花見小路～建仁寺、八坂神社  
午 後 角屋もてなしの文化美術館  
17:45頃 JR京都駅

**6-E** 「京野菜収穫体験と大原三千院」  
午 前 京野菜の収穫体験  
昼 食 松門  
午 後 大原三千院、寂光院、志野で野菜などのお買い物  
18:00頃 JR京都駅

※6-B～6-Eは、京都学生ガイド協会所属の本学学生がご案内します。

## 特別企画 日本舞踊の世界と古都の文化に触れる旅

午前の部は、日本の伝統芸能である日本舞踊とは何かを学び、人気の歌舞伎舞踊「藤娘」を鑑賞。  
午後の部は、古都の文化に触れる厳選された5つのコースから1つを選べる特別企画です。



午前の部

### 6 日本舞踊への誘い

世界に誇る日本の伝統芸能・日本舞踊の魅力を五大流派の一つである若柳流四世家元・若柳壽延師がわかりやすく解説。国内は元より、ローマ・シカゴ・ハワイ・香港・韓国など世界各国で公演を開催し、ヴァチカン宮殿ではローマ法王の御前で舞踊を披露するなど、世界に日本舞踊を紹介してきた経験に基づき、日本舞踊の成り立ち、日本舞踊と歌舞伎の関係、日本独自の舞台機構である花道についてなど、幅広くご教授いただきます。  
また、本学卒業生で現在新鋭舞踊家として活躍中の若柳佑輝子さんによる日本舞踊・長唄「藤娘」が観賞できます。

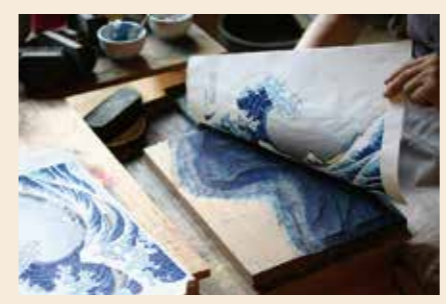


四世家元 若柳壽延師(わかやぎじゅえん)  
若柳流三世宗家二代若柳寿童長男。12歳で若柳流四世家元を継承。2001年公益社団法人日本舞踊協会理事に就任、2015年常任理事に就任。現在、名取総数約4,000名を持つ。



若柳佑輝子さん(わかやぎゆきこ)  
2014年3月立命館大学文学部卒業  
若柳壽延長女。次世代への日本舞踊の普及を目指し、大学在学中より弟子を育成し、立命館小学校をはじめ京都光華高等学校、文教中学・高等学校、東映俳優養成所で講師をつとめる。

### 午後部 選べる5コース プラス



#### 6-A 浮世絵の今と昔～木版体験～

浮世絵などを手掛ける木版工房・竹中木版は1891年創業の老舗。竹中木版五代目摺師であり、立命館大学の客員協力研究員でもある竹中健司さんが、先人が残した浮世絵と、現代の浮世絵の魅力を講演。ワークショップでは、実際に版木を使って図柄を摺る体験も。工房見学など、普段は触れることができない木版の世界を体験することができます。



竹中木版 五代目 竹中健司氏  
京都木版画工芸組合副理事長、文化庁選定「浮世絵木版画彫摺技術保存協会」理事、立命館大学客員協力研究員としてアート・リサーチセンター(P8参照)の活動にも貢献。海外でも高い評価を受け、アメリカボストン美術館やホノルル美術館などにも作品が収蔵されている。

#### 6-B 小倉百人一首の真の魅力に迫る!

[時雨殿]の展示室特別案内も楽しみながら「小倉百人一首の真の魅力に迫る」コース。

#### 6-C 嵯峨野トロッコ列車と保津川下りで巡る嵐山散策

「嵯峨野トロッコ列車と保津川下りで巡る嵐山散策」で秋の絶景を愛でるコース。

#### 6-D 京のおもてなし体験～舞妓のおもてなし～

舞妓の踊りを目の前で楽しめる京のおもてなし体験<舞妓のおもてなし>コース。

#### 6-E 京野菜収穫体験と大原三千院

歴史ある三千院、京野菜の料理、京野菜の収穫体験もできる、大原満喫コース。

【開催日程】 2016年12月11日(日)  
【申し込み受付】 9月26日(月)～10月7日(金)  
【申し込み方法】 インターネットにて申込み  
<http://www.ritsumei-fubo.com>  
父母教育後援会WEBサイトに受付フォームを設置します  
【価格】 各コース2万円前後、6(午前のみ)は5千円

※各コースの募集定員に達した場合は、申込みを締め切らせていただきます。  
※各コースの最小催行人数は30名に満たない場合、10月末日までに開催中止の旨、ご連絡します。  
※各コースの募集定員は40名です。  
※グループでお申し込みの場合、最大3名まで可能です。  
※訪問場所、昼食などは予定です。変更する可能性もございますので、予めご了承ください。  
※当日の様子を写真撮影し、会報やホームページに掲載することがあります。

# 父母教育後援会総会

## 春の委員懇談会レポート

5月14日、2016年度の父母教育後援会総会が全国の委員にお集まりいただき開催されました。  
同時に春の委員懇談会も行われ、今後の活動などについて話し合いがなされました。

### 総会

#### 活動報告と次への事業支援を承認

総会では熊本地震から1ヶ月ということもあり、大学から様々な援助が行われていることなどが報告され、熊本県代表の委員は、「多くの支援の声をいただきありがとうございました」と謝意を述べられました。また、立命館創始150年、学園創立120周年を迎える2020年までに、様々な準備に対する予算が承認され、今後も立命館大学の発展へ向けての父母教育後援会活動も期待されています。



### 委員懇談会

#### 支援体制はもちろんのこと 教育についても提案

グループに分かれての懇談会には、兄弟で立命館大学に通わせている方や、大学のことをよく知らない1回生の子供を持つ方など、さまざまなバックグラウンドを持つ都道府県委員が参加。悩みを共有しあったり、父母教育後援会に関する提案が行われたほか、「卒業生の就職支援のサポートの強化」や、「心の管理方法や自分を知るため、アメリカで取り組まれている生きることについて考える授業を導入しては」など、保護者ならではの視点で提案も行われました。



### check

#### 詳細はWEBからもご覧いただけます

父母教育後援会では、さまざまな情報をインターネットで発信しております。WEBサイトでは、決算・予算の詳細を掲載した総会議案書をご確認いただけますのでご覧ください。総会議案書は、WEBサイトの下段にある「会報・冊子バックナンバー」からご覧ください。



科目	2015予算	2015決算	2016予算	主な内容
<b>【経常収入の部】</b>				
会費収入	357,580,000	354,307,500	364,194,000	
在学生会員会費収入	357,580,000	352,387,500	362,375,000	
卒業生父母の会費収入	0	1,920,000	1,819,000	
基金取崩収入	0	0	296,449,320	
資産運用収入	30,000	22,287	30,000	
雑収入	0	13,300	0	
<b>A 経常収入合計</b>	<b>357,610,000</b>	<b>354,343,087</b>	<b>660,673,320</b>	
<b>【経常支出の部】</b>				
事業費	325,870,000	360,679,193	498,033,000	
懇談会事業費	49,570,000	46,669,319	53,523,000	春のオープンカレッジ、都道府県父母懇談会、学園祭招待、アカデミック講演会、アカデミックウォッチング
学生教育支援事業	212,450,000	258,437,053	348,100,000	新入生クラス活動支援、成績通知表送付、表彰制度、課外活動応援グッズ、資格試験等図書購入費、留学生支援奨学金、会員家計急変奨学金、災害支援奨学金、100円朝食支援など
広報事業	25,800,000	30,576,642	32,100,000	会報、ホームページなど
その他事業費	28,050,000	21,301,072	53,660,000	入学・卒業記念品作成費、弔慰金、キャンパス整備支援事業費、学園周年記念事業費など
新規事業計画費	10,000,000	3,176,681	10,000,000	
卒業生父母の会事業	0	518,426	650,000	
管理費	29,860,000	134,252,855	29,120,000	会議費、事務費、人件費
<b>B 経常支出合計</b>	<b>355,730,000</b>	<b>494,932,048</b>	<b>527,153,000</b>	
<b>C=A-B 経常費収支差額</b>	<b>1,880,000</b>	<b>△140,588,961</b>	<b>133,520,320</b>	
<b>D 予備費</b>	<b>73,852,618</b>	<b>0</b>	<b>171,703,977</b>	
<b>E=C-D 当期収支差額</b>	<b>△71,972,618</b>	<b>△140,588,961</b>	<b>△38,183,657</b>	
<b>F 前期繰越収支差額</b>	<b>178,772,618</b>	<b>178,772,618</b>	<b>38,183,657</b>	
<b>G=E+F 次期繰越収支差額</b>	<b>106,800,000</b>	<b>38,183,657</b>	<b>0</b>	

### check

#### 学生支援の活動を拡充し、将来の事業支援の準備を開始

##### 2015年度の活動報告

- ・100円朝食が評価され、厚生労働大臣賞最優秀賞受賞
- ・家計急変奨学金制度を拡充。2015年度は64名の学生に対して卒業までの学費を給付、52名の学生には年間学費を給付
- ・災害支援奨学金制度設立。2016年4月の熊本地震では6名が申請（7月末時点）
- ・卒業生父母の会設立。2015年度は276名（正会員156名、准会員120名）、2016年度は312名（正会員145名、准会員167名）が入会

##### 2016年度予算ポイント

- ・災害支援奨学金を設立し、災害時の必要予算の整理を行った結果、これまで積み立ててきた災害時基金積立金を基金取崩収入として予算化
- ・立命館創始と学園創立の記念事業支援として毎年度500万円を積立
- ・キャンパス整備支援として、毎年度2,000万円を積立

## 父母教育後援会からのお知らせ

# 古本募金

### 古本募金が100万円を超えました

被災地支援に向け2014年度から始まった古本募金も、支援の輪が広がり、「今後も続けたい活動」として支持されてきました。さらなる活動のために、お知り合いと一緒にご協力をお願いします。

### 募金額1000万円を目指して

皆様のご協力により、募金総額は1,121,434円(2016年6月末現在)となりました。現在も目標1,000万円を目指して活動中で、父母教育後援会会員の皆様だけでなくご友人やご近所の方々のご協力も大歓迎。こうして集まった募金は、立命館大学災害復興支援室が取り組むイベントを通じて、東日本大震災など自然災害への復興支援活動に役立てていきます。手続き方法などに関しては、本誌送付の際に同封しています別紙をご参照ください。



### webサイトがリニューアルしました!

今春よりwebサイトがリニューアル。より見やすく、分かりやすい構成で情報を発信しています。各種行事の報告や、申し込みもここからご覧いただけます。大学と学生たちの様子が分かる「立命館ギャラリー」のページでは、四季折々の雰囲気も感じていただけるように更新中ですので、ぜひチェックしてみてください。

webサイトのトップページには、最新のお知らせを掲載しています。



<http://www.ritsumeifubo.com>

### 会報のバックナンバーも閲覧可能

保護者の方々へお届けしている会報「父母教育後援会だより」では、年間を通じて、できるだけ多くの学部や学生について紹介することを目指していますが、多くの方から「子供が所属する学部の取組みが知りたい」、「他のゼミの紹介を見たい」、というご要望を頂いています。順次取り上げていく予定ですが、過去に取り上げた学部などに関しては、父母教育後援会のwebサイトから会報のバックナンバーをご覧ください。トップページの下部にある「会報・冊子バックナンバー」をクリックしていただくと、各号が閲覧できます。



## 立命館大学からのお知らせ

### 2016年度前期 卒業式・学位授与式のご案内

前期卒業生の卒業式・学位授与式が行われます。保護者の皆様もぜひご参加ください。

【日程】 2016年9月22日(祝・木)

【対象者】 2016年9月に卒業する全学部の卒業生

【場所】 朱雀キャンパス大講義室(5階ホール)

【時間】 10時30分(衣笠キャンパスの全学部)  
13時30分(びわこ・くさつキャンパス、大阪いばらきキャンパスの全学部)

※開場は開式時刻の30分前です。開式10分前までにご着席ください。  
※全体での式典の後、各学部別に証書授与式を実施します。

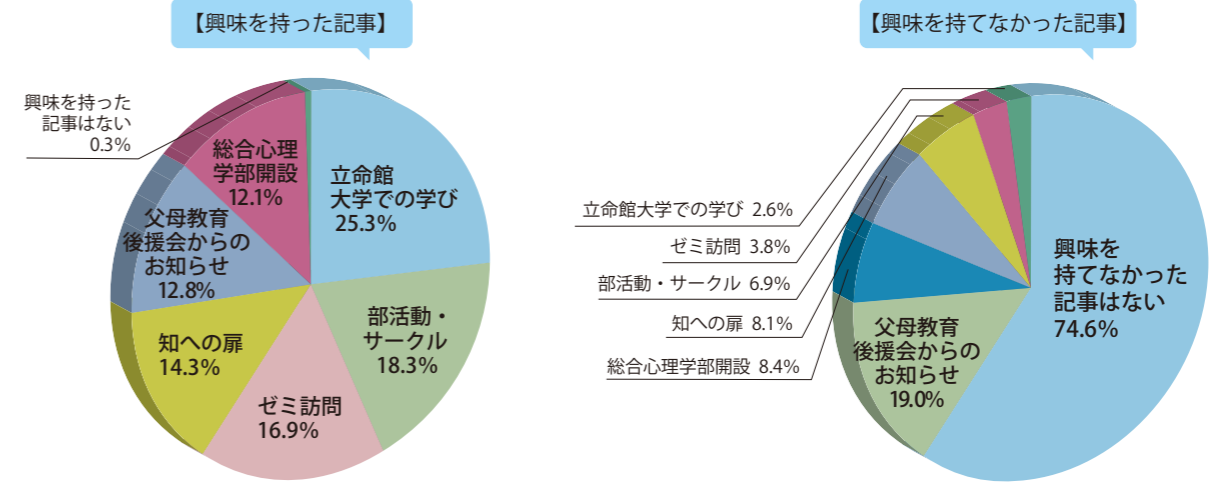


## 皆様の「お声」が誌面作りに役立っています

父母教育後援会だよりは年3回お送りしており、毎号アンケートにご協力いただいています。2016年度春号でいただいたアンケートの結果やご意見を紹介します。

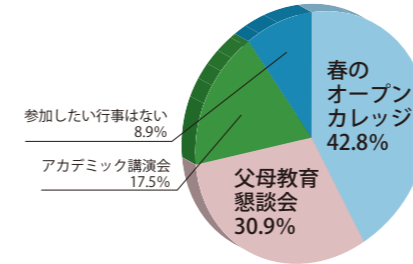


Q. 春号の中で、興味を持った記事、興味を持てなかった記事を教えてください。

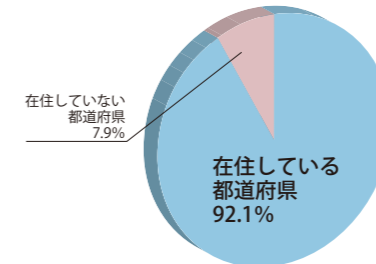


特集記事では、入学直後の小集団クラスでの取り組みや、ピア・ラーニングの仕組みなどをご紹介します。多くの方に関心を持っていただきました。春号から始まった「知への扉」では、これからも立命館教員の研究内容を分かりやすく紹介していきます。

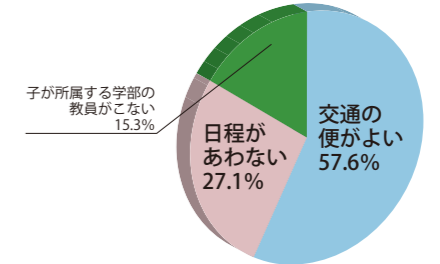
Q. 春の行事で、参加したい行事は何でしたか?



Q. 父母教育懇談会に参加される場合、どの会場を選びますか?



Q. 「在住していない都道府県」を選択された理由は何ですか?



### 【皆さまからのお声】

親元を離れ、何から何まで一人で大丈夫だろうか心配する毎日。特集記事を読んで、大学がこんなことまで考えてくれたのだと、ほっとしました。(静岡、法1回生、男)

学生同士が、お互いを支えあい、高めあうことにつながる仕組みは大変いいことだと思いました。(奈良、法3回生、男)

専門的に研究されている教授陣のお話が面白いです。(京都、産社1回生、男)

子どもから「オリターさん」と聞いていて、誰の事だろうと思っていました。色々優しく教えていただいているようで感謝しています。(滋賀、情報理工1回生、女)

キャンパスカレンダーはとても役立っています。祝日の扱いや試験、夏休みなど、日程の情報が確実にわかるので安心して愛用しています。(福岡、文2回生、女)

学生のファッションがよくわかり、我が子の通学スタイルはどんな服装なのかと心配したり期待したりしています。(鹿児島、法2回生、男)

ゼミナール訪問は色々なゼミの様子・雰囲気が垣間見られいつも楽しみにしております。(三重、法3回生、男)

大学と親との関係は子どもを介している場合が多く、情報が偏ったり、無関心になったりしますが、このような会報があることで大学が何をしているかを知り、より身近に感じることが出来ます。(三重、国際関係3回生、女)

◀ ◀ ◀ ◀ ◀ たくさんのご意見、ありがとうございました。 ▶ ▶ ▶ ▶ ▶